

20 吉 土 145号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長殿

幡豆郡吉良町長 山 本 一 義



今後の道路行政についての意見・提案の提出依頼について(回答)

平成20年9月19日国道企第37号にて依頼のありましたこのこと
については、別紙のとおりです。

記

1. 今後の道路行政についての意見・提案書

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案について

便利で住みよい地域づくりのためには道路基盤の整備は欠かすことの出来ない施設であり計画的に、早期に整備しなければ効果は発揮されません。国、県、町がそれぞれの立場に立って必要とする事業を責任を持って進めることが必要であり、その為の予算は確実に確保されることも必要であります。

相次いだビックプロジェクトを機に、愛知・岐阜・三重をつなぐ「東海環状自動車道」や「伊勢湾岸道路」の整備は進んでまいりましたが、一方、この西三河南部地域のインフラ整備は取り残されたままであります。公共交通機関の乏しい当地域が発展するには基幹道路の地域高規格道路の整備とそれに繋がる補助幹線道路の整備が必要不可欠であります。現在、地域高規格道路では常滑と蒲郡を結ぶ約40キロメートルの「名浜道路」が検討されています。この名浜道路を利用すれば、吉良町から空港まで40分で行けるようになります。さらに名浜道路が名古屋―豊橋間を結ぶ名豊道路に接続すれば浜松までの交通アクセスも向上し、この西三河南部地域の活性化の大きな一翼となります。高速ネットワークを強化すること、そして集中的にスピード感をもった道路整備が地方の発展に繋がることでもあります。。早く整備して事業効果を上げなければ地方は遅れるばかりであります。名浜道路や西三河南北道路のような地域が真に必要なとする道路の整備をお願いします。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

1. 生活道路について

本町の道路は国道が1路線、主要地方道が2路線、一般県道が7路線、そして町道が約1200路線(400km)あります。町道の整備率は、国道や県道と比べ低い整備率であります。これらの町道については、市街地や集落内における道路の幅員が狭く、自動車や歩行者の通行に支障が生じています。また整備してから長い期間が経過している路線が多く路面の劣化や側溝など排水不良が生じています。加えて橋梁にあっては耐震化対策が出来ていない状態です。

2. 広域道路網について

町内の道路網は、国道247号が南部を東西に、また、主要地方道の西尾吉良線を始めとする9路線の県道が縦横に走り、名古屋、岡崎、安城、豊橋など主要都市と結んでいます。西三河南部地域が発展するには道路が必要であり高規格道路として名浜道路が平成5年第11次道路整備計画5カ年計画において、都市圏自動車専用道路に指定され、平成19年3月30日には国土交通省道路局長により、碧南市～幸田町間の約21kmが調査区間の指定を受けております。

○課題

1.

国・県道との連絡、また地域コミュニティ及び生活活動を考慮した道路整備も進めていく必要があります。しかし、町民からの要望は道路改良、橋梁整備、交通安全対策など多岐に渡っており、特に愛知県の交通事故ワースト1返上のためにも交通安全対策を第一優先として取り組んでいます。財政の厳しい本町においては道路特定財源の一般財源化に伴う道路事業に関する財源不足が心配されます。

2.

国道、県道にあっては通過交通が増大する傾向にあり交通安全対策が望まれています。また、現在調査区間になっている名浜道路にあっては位置決めが課題となっており完成までに相当の時間が必要で、現在も主要都市へのアクセスに欠けている現状であります。また、整備中の県道西尾幡豆線(バイパス)は幡豆町、吉良町、西尾市を結ぶ南北軸幹線道路で近隣市町との交流、企業誘致に欠かせない道路でありながら、着工から20年の歳月が経とうとしていますが今だ未完成であり早期完成が課題であります。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

三位一体の改革により地方分権が進む中、本町では、安心して安全な街を目指して、企業誘致や観光客誘致を図るなど町の活性化や自立に必要な自主財源確保に努めてまいりました。しかし、西三河南部地域は企業や観光客を誘致するには交通手段が乏しい地域であります。鉄道では名鉄西尾線がありますが、特急の本数も少なく都市(名古屋圏)からの所要時間がかかりすぎている状況にあります。言うまでもなく道路は豊かな生活の実現と個性ある地域の発展と工場生産品の搬出に欠かせない最も基本的な社会基盤であり、かつ、災害時における輸送路として地域生活の維持に不可欠なものであります。安心安全なまちづくりのためにも地域高規格道路の整備とそれに接続する幹線道路の整備を推進し活力あるまちづくりを目指しています。